

曲目の紹介

◆「入間川」 いるまがわ

大名 山本 泰太郎
太郎冠者 若松 隆
人間の某 山本 則重

訴訟の件で長い間、都へ留め置かれた大名ですが、ようやく願いが叶い、太郎冠者を伴って意気揚々、東国の国元に帰ります。すべて望み通りとなった上、新たな領地まで拝領した嬉しさに天下を取ったような気分の大名、武蔵の国まで来ると大きな川に出ますが、どうしても川の名前が思い出せません。

そこで川向こうの人に尋ねますが、大柄な物言いをしたため、同様に言い返されてしまいます。

怒った大名は太刀を抜き掛けますが、太郎冠者になだめられて丁寧に問い直します。

川の名を「入間川」と教えてもらった大名は心の中で「入間川の逆言葉」を使った仕返しをするチャンス伺います。

『人間様（いるまよう）』とは、中世の入間地方で用いられていると都に伝わった『逆さ言葉』のお遊びで、物事をすべて反対に云い表わします。この特殊な言葉遣いを作品の中心に据えて、台詞の面白さと混乱を狙った演目です。

◆「箕被」 みかづき

夫 山本 東次郎
妻 山本 凜太郎

連歌に興じて友人宅を泊まり歩き、家庭を顧みない夫、当番役が回ってきたので準備の為、ようやく帰宅するが、家計のやりくりもままならぬのに大きな出費の要る当番役と聞いた妻はついに、堪忍袋の緒が切れ、離縁を申し出る。あつさ

りと同意をした夫は、妻から何か印の品をと乞われ、朝夕の食事の支度に使用していた箕を渡す。箕を被いて親里へ帰る妻の後ろ姿を見た夫は思わず「いまだ見ぬ、二十日の宵の三日月は」と詠み掛ける。それを聞いた妻は、返歌をしなければ後の世に口の無い虫に生まれ変わると、立ち戻って鮮やかに後の句をつけて見せる：

◆「茶壺」 ちゃつぽ

すつぽ 山本 則孝
中国の者 山本 則秀
目代 山本 則俊

中国地方から京都の梅尾に茶を買い付けに来た男は帰途、酒を過ごして茶壺を背負ったまま、往來で寝込んでしまう。

それを見つけたすつぽは茶壺を自分の物のように見せかけ、言い争いに。目代の前でどちらの物か、審査することになる：

◆「狂言のお話」

山本 東次郎

「重要無形文化財各個指定(人間国宝)」
「日本芸術院会員」

芸術上の功績顕著な芸術家を優遇するための栄誉機関で、文部科学省の外局である文化庁が所管する。院長のほか会員100人余で組織され、第一部(美術)定員56)、第二部(文芸)定員37)、第三部(音楽・演劇・舞踊)定員27)に分かれていて、会員は終身制で、新会員は部会の推薦によって文部科学大臣が任命する。

演者の紹介

山本 東次郎 やまもと とうじろう 昭和十二年生
狂言方大藏流・山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。平成四年度芸術選奨文部大臣賞受賞。平成十三年紫綬褒章受賞。平成十九年日本芸術院賞受賞。重要無形文化財総合指定。著書「狂言のすずめ」「狂言のことだま(どちらも玉川大学出版部)」「狂言 山本東次郎(共著 新人物往來社)。東京都杉並区在住。

山本 則俊 やまもと のりとし 昭和十七年生
狂言方大藏流・三世東次郎の三男。平成二年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。重要無形文化財総合指定。東京都町田市在住。

山本 泰太郎 やまもと やすたろう 昭和四十六年生
山本則直の長男。父および東次郎に師事。昭和五十二年「朝猿」の子猿で初舞台。平成二十二年「三番三」平成八年「釣狐」を披く。平成二十二年文部科学省芸術祭優秀賞受賞。若手能楽師と「三聲会」を開き研鑽の場としている。重要無形文化財総合指定。狭山市立南小学校出身。狭山市在住。

山本 則孝 やまもと のりたか 昭和四十八年生
山本則直の次男。父および東次郎に師事。昭和五十三年「伊呂波」で初舞台。平成八年「三番三」平成十五年「釣狐」を披く。若手能楽師と「三聲会」を開き研鑽の場としている。重要無形文化財総合指定。狭山市立南小学校出身。狭山市在住。

山本 則重 やまもと のりしげ 昭和五十二年生
山本則俊の長男。父および東次郎に師事。昭和五十七年「伊呂波」で初舞台。平成十二年「三番三」平成十八年「釣狐」を披く。若手能楽師と「七拾七年会」を開き研鑽の場としている。重要無形文化財総合指定。

山本 則秀 やまもと のりひで 昭和五十四年生
山本則俊の次男。父および東次郎に師事。昭和六十年「伊呂波」で初舞台。平成十四年「三番三」平成十八年「釣狐」を披く。重要無形文化財総合指定。

山本 凜太郎 やまもと りんたろう 平成五年生
山本泰太郎の長男。父および東次郎に師事。平成九年「伊呂波」で初舞台。平成二十八年「釣狐」を披く。狭山市立柏原小・中学校出身。狭山市在住。

若松 隆 わかまつ たかし 昭和三十四年生
東次郎に師事。平成二十八年「三番三」を披く。

「新型コロナ感染防止」のお願い

- 検温、マスク着用、手指消毒をお願いいたします。
- お客様ご購入の座席の前後左右は、空席です。
- 例年行っておりました山本家との懇親会は、感染防止のため中止にいたしました。

狂言講演会(共催 中央公民館)

狭山市の若手狂言師
山本泰太郎、則孝、凜太郎による事前学習会

日時 2月1日(火)14:00~15:30
会場 狭山市市民交流センター 1階コミュニティホール
定員 先着100人(TEL申し込み) 入場無料
申し込み・問合せ先 中央公民館 04-2952-2230